

令和8年度

生命環境学群 地球学類
推薦入試

小論文
試験問題

注意事項

- ① 問題Ⅰから問題Ⅲのすべてに解答すること。
- ② 解答用紙は各問題に対して1枚使用し、問題Ⅰから問題Ⅲのすべてにマス目用紙を用いること。それぞれの解答用紙の横長の箱内に「問題Ⅰ」のように問題番号を明記し、小問に分かれている場合は解答用紙に「問1」のように小問番号を記入した上で、小問ごとに解答すること。
- ③ 下書き用紙は試験終了後持ち帰ること。
- ④ 試験時間は120分です。

問題 I 次の英文を読み、問 1 から問 3 に答えなさい。

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

注 cavity 空隙・空洞、refractive index 屈折率

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

(Walker (1986) から一部改変して引用)

問 1 下線部(1)について、和訳しなさい。

問 2 下線部(2)について、その理由を 30 語程度の英語で説明しなさい。

(解答用紙のマス目は気にせず解答して構わない。)

問 3 下線部(3)が観察されるにはどのような条件が必要なのか、本文の記述に基づき 70 字程度で説明しなさい。

問題 II 国連人道問題調整事務所によると、2023年に世界で洪水や森林火災、暴風雨、地滑りなどの自然災害で命を失った人の数は前年より30%増加したという。自然災害による被害者を減少させるため、科学はどのような貢献ができるのだろうか。あなたが考える解決につながる研究とはどのようなものかについて、研究目的と研究方法を含めて、300字程度で説明しなさい。

問題 III 震源が浅く、規模の大きな逆断層型の地震は、海溝付近をはじめとするプレートの境界で発生することが多い。この理由を、プレートの運動と地震の発生メカニズムの関係をもとに、300字程度で説明しなさい。